

平成 24 年 1 月 19 日
内閣官房情報セキュリティセンター

公開ウェブサーバの脆弱性に関する注意喚起

内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）は、平成 23 年 9 月から 12 月までの間、11 府省庁の指定した自府省庁の公開ウェブサーバを対象とする脆弱性検査を実施しました。

その結果、危険度高（CVSS（注）基本値 7.0～9.9）に相当する SQL インジェクションやサービス運用妨害（DoS）の脆弱性が複数の省庁のサイトで確認されたことから、NISC では、検査対象以外の府省庁を含む全ての府省庁及び立法府、司法府等に対して、1 月 19 日付けで別紙のとおり事務連絡を発出しました。

確認された脆弱性については既に各府省庁で措置を行ったところですが、別紙事務連絡において、未検査のウェブサーバ及び現在開発中のウェブサーバについては各府省庁等で自ら確認を行うことを奨めるとともに、簡易な確認方法等について説明を行っています。

注 CVSS（共通脆弱性評価システム：Common Vulnerability Scoring System）は、米国家インフラストラクチャ諮問委員会（NIAC）のプロジェクトで 2004 年 10 月に原案が作成。特定のベンダーに依存しない共通の評価方法として、多数の組織で採用（参考 URL：<http://www.first.org/cvss/eadopters.html>）。

- 公開ウェブサーバ脆弱性検査において複数の省庁で確認された脆弱性について
主な内容
- ・ SQL インジェクションの概要、確認方法及び対策例
 - ・ サービス運用妨害（DoS）の概要及び対策例

*別紙の事務連絡については、以下からも参照できます。

<http://www.nisc.go.jp/active/general/chuukanki.html>

【本報道発表に関する問い合わせ先】
内閣官房情報セキュリティセンター
内閣参事官 木本裕司
電話 03-3581-3959（センター代表）